



日本連盟創立100周年

記念年を振り返って



100

YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

目次

- 01 総裁挨拶
理事長挨拶
- 02 スカウトの夢
- 04 私たちの歌は「ボーイスカウト ～いま 高き峰へ～」!!
- 05 オープニングセレモニー
全国大会
- 06 第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）
- 10 プラごみバスターズ大作戦
- 12 全国防災キャラバン
- 14 記念式典
- 16 100周年を記念する表彰
- 17 100周年記念募金事業（未来の子どもたち基金、デジタルミュージアムなど）
- 18 記念史／切手／アマチュア無線局／記念ウェブサイト
- 20 クロージングセレモニー
佐野実行委員長総括



■ 総裁挨拶



総裁 御手洗 富士夫

ボーイスカウト運動とは、その体験の中からたくさんのことを学び、学んだことにより人格向上を図ることが主眼となっています。

しかしながら、この活動を支えるのに必要なことは、各地の皆さんの深いご理解と温かいご支援が必須であります。100年の間、この運動が継続して参りましたのはまさにその方々の温かいご支援のたまものであります。この場をお借りしましてあらためて御礼申し上げます。

私たちは、100周年を迎えるにあたり、本年を「慶賀」の年ではなく、改めてそれぞれの地域において、社会に役立つ活動を展開していく年にしていこうと決めました。

わたしたちの運動は、いつのときも「そなえよつねに」を胸に、「Think Globally, Act Locally.」という規範に則り、各地で社会のために活動をしていただいています。この活動が我が国のために新しい未来に続くべく歩んでいってほしいと思います。

近年は少子化の影響もありながら、スカウト達は大変活発に活動をしているところです。一方で現代社会の課題の一つは、若い人たちが野外で活動する機会が大変少なくなってきたということがあります。多くの青少年が野外で活動をすることの助けになるように、われわれはこれからも努力していきたいと思っております。

[2022年11月26日(土)創立100周年記念式典挨拶から一部引用]

■ 理事長挨拶

この100年を振り返れば、1921年、昭和天皇が皇太子殿下の時代に欧州歴訪で英国にてボーイスカウト創始者バーデンパウエル卿から直接、日本でスカウト運動を勧められ、翌年少年団日本連盟が結成されました。それ以降、多くの皇族に御臨席を賜り、2022年11月26日の明治神宮会館に於ける創立100周年記念式典にも天皇皇后両陛下の御臨席を賜り誠に光栄ございました。

過去100年には多くの苦難もあり、その度に先達のご尽力で克服したことを考えると、現代のコロナ禍のような世界的流行病に感染防止を徹底しつつ、有効なスカウト運動を継続しなければなりません。

また、地球温暖化に起因する気候変動から世界中に被害の大きな異常現象、記録的集中豪雨による洪水、巨大台風、竜巻、山火事、海面上昇などが起き、時にはスカウトによる救援活動も行われています。人類を含む全生体系の危機に対して国連からSDGsが提唱され、スカウト運動もこれに呼応してできる項目には目標を立てて実践することが求められています。

これからも私たちのスカウティングは、地球の様々な課題と取り組みながら、多くの仲間と共に歩んでいきたいと思います。

[スカウティング誌2023年1月号年頭挨拶から一部引用]



理事長 水野 正人

■ スカウトの夢

将来を担うスカウトたちの「夢」は、わたしたちのスカウト運動にとって、これからの100年に向けた貴重な財産です。2021年10月から2022年3月末までの間に、全国のスカウトにボーイスカウトの楽しいところや将来の夢を聞きました。





■ 私たちの歌は「ボーイスカウト ～いま 高き峰へ～」!!

創立100周年を機に、ボーイスカウトの良さや楽しさなどを再認識し、その魅力を伝えるとともに、どんな大人になりたい・どんな社会にしたいのかの「夢」をこめた歌を制作する『スカウトの歌プロジェクト』を実施しました。

全国各地のスカウトから400以上届いた「ことば」を元に、弓削田健介先生に作詞・作曲いただき「ボーイスカウト ～いま 高き峰へ～」が完成しました。

この歌には、私たちの誇りや理想を示す「ことば」が散りばめられています。まさにこれらは全国のスカウトから寄せられた「ことば」なのです。そして、胸が高鳴り勇気が湧いてくるメロディーは多くのスカウトに末永く引き継がれていくでしょう。

これからも、みんなで「ボーイスカウト ～いま 高き峰へ～」を高らかに歌いましょう。



全国から届いた「ことば」



2022年4月9日収録の様子（協力：東京連盟江戸川第3団、葛飾第2団、品川第6団、北第5団のみなさん）



【プロフィール】

弓削田 健介（ゆげた けんすけ）

1982年福岡県生まれ
合唱作曲家・子どもミュージカル作家。主に小中学生が歌う合唱曲を作曲。

キャンピングカーを拠点に、日本全国の小中学校や海外日本人

学校などで2,000回を超えるスクールコンサートを行い、メディア出演時は「放浪の合唱作曲家」と呼ばれる。澄んだ歌声が特徴のピアノ & ギター弾き語りミュージシャンとしても活動。旅から得た気づき、出会いと感動を元に作曲するスタイルで、4冊の楽譜集と絵本を出版。2020年、音楽の教科書（小学校4年生・教育芸術社）に楽曲が掲載される。

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念ソング

ボーイスカウト ～いま 高き峰へ～

作詞・作曲：弓削田健介
ことば：100周年スカウトの歌プロジェクト

世界に暗闇が
忍び寄りろうとしても
ともし火揚げ合い
平和の騎士が
明日を照らすよ
100年前も100年後も

僕らの冒険は
笑顔をつむぐ旅さ
希望を分かち合い
すべての命の
弥栄歌おう
世界中の仲間たちと

立ち上がれ Boy Scout
つなげよう Blue Sky
国境は消えてゆく
僕らが共に歌うとき

そなえよつねに Boy Scout
ひろげよう True Smile
未来はそう信じてる
僕らの夢かなう朝を

Boy Scout
ちかいとおきてを
コンパスにして
いま 高き峰に向かえ

Boy Scout
誇りと名誉の
チーフ巻いて
いま 高き峰に向かえ

ラララ・・・
-Creating a Better World-
ラララ・・・
-Creating a Better World-

100 YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN
1922 - 2022

曲はこちらから



■ オープニングセレモニー

2022 (令和4) 年4月10日 (日) @スカウト会館



くす玉を割ってお祝しました。

2022年4月10日(日)スカウト会館でオープニングセレモニーを開催しました。水野正人理事長による挨拶からはじまり、来場者を代表して東京連盟の白川雅之理事長より祝辞をいただきました。佐野友保100周年記念事業実行委員長より事業の紹介を行ったのち、各部門のスカウトが決意の言葉を述べました。村田禎章総コミッショナーによる弥栄で会を締めくくりました。



水野理事長とスカウト



スカウトによる決意宣言

■ 全国大会

2022 (令和4) 年5月27、28日 @兵庫県姫路市

創立100周年を記念して、皇室とのこれまでのつながりをまとめたパネル展示をエキスポ会場内にて実施しました。

1921年に皇太子裕仁親王殿下(当時)がイギリスをご訪問され、現地でのボーイスカウト集会を熱心に視閲されたことから始まったボーイスカウトとのつながり。現在の天皇陛下におかれては、ボーイスカウトへの理解を深められ、多くの大会にご臨席いただきました。



■ 第18回日本スカウトジャンボリー (18NSJ) | 2022(令和4)年夏 @全国



■大会テーマ 100+f ~自分のfを探せ~

■大会概要 2022年の夏休み期間に全国各地で開催

1956(昭和31)年に長野県軽井沢で開催した第1回日本ジャンボリーから66年、17回の歴史を経て、2022(令和4)年夏、第18回日本スカウトジャンボリーを史上初の全国分散開催という形で実施しました。

日本連盟100周年記念事業として「100+f ~自分のfを探せ~」をテーマに東京都内での集合開催を企画準備していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限などの事由から、リスクを最小限に抑えるために、政府の基本対処方針に基づく万全の対応が施せる規模での地域開催を全国の都道府県連盟にお願いし、さらに地区や隊の単位で夏休み期間中に何時でも参加できるジャンボリーサマー2022の機会を提供することで、全国14,000人が登録する「ALLOVER JAPAN」の大会を全国250を超える会場で展開しました。

開催直前の7月には全国的に新型コロナウイルス感染者数が急増しましたが、複数の会場において大会規模の変更や、ジャンボリーサマー2022への移行など、さまざまな工夫と関係者のご尽力により、多くのスカウトが第18回日本スカウトジャンボリーに参加する機会

を得られたことを、全国47都道府県連盟をはじめご協力いただいた関係各位に改めて感謝するものであります。

第18回日本スカウトジャンボリーが分散開催になったことから、オンラインアプリを活用した「スカウト同士のつながり」や、全国と相互に中継をつなぐ「ジャンボリー大集会」、夏休み期間中を通じてスカウトスキルを競い合う「ジャンボリー日本一プログラム」などネットワークを活用しました。その一方、全国すべての県連盟から1級スカウトを募り実施する「代表スカウトキャンプ」や、複数の県連盟が集う「サテライト会場」の設置など、新型コロナウイルス感染症拡大により停滞したスカウトキャンプの再興に向けての展開が為されました。

また、第18回日本スカウトジャンボリーでは、スカウトにとって大会が単なるイベント参加に止まらぬよう、提供するさまざまなプログラムにおいて総コミッショナーのもと、全国のコミッショナーおよびスカウト指導者に、準備期間よりスカウトの指導にあたっていただいたことに心より感謝いたします。

第18回日本スカウトジャンボリー実行委員長

白川 雅之







■ プラごみバスターズ大作戦

2022(令和4)年7月11日～11月7日 ※一斉活動日を9月19日と設定

■ 実施概要

スカウト運動が地域社会に根差した実践活動であることを広く社会に周知することを目的に、環境保全や環境美化をはじめとしたさまざまな活動を「スカウトの日」として全国各地で実施しています。テーマも「ごみゼロ運動」から始まり、「カントリー大作戦」、「地球大好き! I love the Earth.」と変遷しながら40年以上継続してきました。2022年、ボーイスカウト日本連盟は創立100周年を迎え、この記念の年に、世界的な環境課題の一つである海洋問題に取り組む新たな「スカウトの日」のテーマを設定し、全国一斉のプログラム展開を進めました。それが「プラごみバスターズ大作戦」です。

■ 活動名称

プラごみバスターズ大作戦

■ 活動期間

実施期間：2022年7月11日(月)～11月7日(月)

集中実施日：2022年9月19日(月・祝日・スカウトの日)

■ 活動内容

全国一斉環境美化運動「スカウトの日」を一つの活動の機会として、スカウトが主体となって取り組む活動として3つのアクションに取り組みました。

① はぐれプラごみについて学ぼう・遊ぼう

世界共通の課題である「プラスチックごみ」について学ぶプログラムを実施。プラスチックごみに関する教育コンテンツを作成・印刷し、全団に配布しました。

② 地域の「はぐれプラごみ」を捕獲しよう

環境美化活動で回収したごみをアプリに登録し、全国規模のデータ集計を実施。アプリ・ごみ拾い SNS「ピリカ」を活用して、楽しみながらごみ拾いを行いました。

③ プラスチックアップサイクルに挑戦しよう

日常生活で利用するペットボトルキャップを全国から回収し、再生

利用に挑戦。キャップから「SDGs バッジ」、を作成するアップサイクルに挑戦しました。

■ 大作戦の流れ



■ 全国での清掃活動

1. 全国での活動(スカウトの日)

2022年7月から11月までのプロジェクト期間中、例年9月を集中実施日とした「スカウトの日」の取り組みにおいて、全国47都道府県連盟から253件5,518人(スカウト:3,547人、指導者:1,971人)が参加したとの報告を受けました。

毎年継続して同じ場所で行う清掃活動や、普段の隊や団の活動で利用している施設の整備、地域の子どもたちを招待しておこなう体験活動など、多様な活動が今年も行われました。

2. 日本連盟主催の3会場での清掃活動(東京、山口、滋賀)

地域のスカウトや指導者のほか、地元セブン-イレブン・ジャパンの社員や加盟店従業員やセブン-イレブン記念財団の方などが参加して、全国で3会場を設定し、清掃活動を行いました。

なかなかごみが見つからずに茂みの奥まで探すスカウトがいる会場がある一方、時間内では処理しきれず、止む無くごみの一部が切り切れなかった会場があったりと、皆が一所懸命に取り組みました。

会場の一つ、山口会場では、牡蠣の養殖で使用される牡蠣パイプが流出する状況をスカウトとともに確認し、小さなプラスチック片を丁寧に拾い集めました。事前に回収していた分も含めて、加工工場



9月25日 東京会場



10月16日 山口会場



10月23日 滋賀会場

に送られ、粉碎・洗浄、ペレット化して、買い物かごに再生利用する「アップサイクル」にも取り組みました。

■アップサイクル品（一部紹介）

① ペットボトルキャップ SDGs バッジ：5万個

ボーイスカウト日本連盟の加盟団のスカウトに配布
県連盟事務局、関係・協力団体へ配布

② 牡蠣パイプ買い物かご：400個

清掃活動・山口会場の周防大島内の協力団体や自治体に配布
清掃活動3会場の協力団より選定して配布
日本連盟の今後の各種事業で使用



兵庫・西宮第2団



■協力団体、関係者

協賛：一般財団法人セブン-イレブン記念財団
協力：株式会社セブン-イレブン・ジャパン

■プラごみバスターズ大作戦 3会場集計表（0925東京、1016山口、1023滋賀）

活動参加者状況

2022年11月7日作成

No.	団体	所属	9月25日東京会場		10月16日山口会場		10月23日滋賀会場		団体別人数 (小計)	団体別人数 合計
			子ども	成人	子ども	成人	子ども	成人		
1	ボーイスカウト	子ども(スカウト)	38		31		82		151	316
2	ボーイスカウト	成人(指導者、ご家族)		39		54		72	165	
3	セブン-イレブン	子ども	6		1		0		7	118
4	セブン-イレブン	成人(職員、社員、店舗)		36		47		28	111	
5	個人参加	子ども	0		3		0		3	11
6	個人参加	成人(地域住民)		0		8		0	8	
7	地域・団体	子ども(生徒、学生)	4		11		2		17	33
8	地域・団体	成人(引率、職員、団体)		4		9		3	16	
会場別人数(小計)			48	79	46	118	84	103	478	
会場別人数合計			127		164		187			

清掃ごみ回収状況

No.	ごみ種別	内容	9月25日東京会場		10月16日山口会場		10月23日滋賀会場		人数小計
			可燃	不燃	可燃	不燃	可燃	不燃	
1	可燃ごみ	可燃物、プラ、ペットなど	11		39		67		117
2	不燃ごみ	空き缶		1		6		3	10
3	不燃ごみ	空きビン		1		6		1	8
4	不燃ごみ	金属類		1		11		2	14
5	不燃ごみ	牡蠣パイプ	-	-		7		-	7
会場別ごみ袋(小計)			11	3	39	30	67	6	156
会場別ごみ袋合計			14		69		73		

■ 全国防災キャラバン | @全国

2016年から継続して開催している全国防災キャラバンを、本年は100周年記念事業として実施しました。県連盟の皆さまからの協力を得て全国58会場で開催し、各会場では子どもから大人まで幅広い年代の方にご参加いただきました。

特に、近年この防災キャラバンに新しく導入した「思いやり防災」をテーマにした災害時の多様性への配慮などを体験できるワークショップでは防災に備える大切さに加えて、人を思いやる心を育むことができました。



思いやり防災

高齢者や障がいがある方など、地域には多様な人がいることを知り、災害が起きたときにお互いに助け合うことが大切であることを親子で考える機会として、ハンディキャップ体験プログラムなどを実施しています。





100周年記念特別プログラム 「わたしの未来 まちの未来」

100周年記念として「わたしの未来 まちの未来」企画を実施し、参加する子どもたちと一緒に未来の自分たちの街を思い描くプログラムを全国で展開しました。

植物や乗り物などのかたちをしたシールに自分たちで「未来のまちにどんなすてきなことがあると思うか」を書いてもらい、台紙となる”街”にシールを貼ることでみんなで少しずつ未来の素敵な街を作っていました。



No.	県連盟	会場
1	北海道連盟	イオンモール札幌平岡
2	青森県連盟	イオンモール下田
3	宮城県連盟	イオンモール富谷
4	福島連盟	イオンモールいわき小名浜
5	茨城県連盟	イオンモール水戸内原
6	栃木県連盟	イオンモール佐野新都市
7	群馬県連盟	イオンモール高崎
8		イオンモール太田
9	埼玉県連盟	川口グリーンシティ
10		イオンモール浦和美園
11		イオンモール与野
12		イオンモール上尾
13		イオンモール春日部
14	越谷イオンレイクタウン“森”	
15	千葉県連盟	イオンモール幕張新都心
16		イオンモール成田
17		イオンモール木更津
18		イオンモール八千代緑が丘
19		イオンモール柏
20	イオンモール船橋	
21	神奈川連盟	イオンモール大和
22	富山県連盟	イオンモール高岡
23	石川県連盟	イオンモール白山
24	福井連盟	福井連盟独自開催(福井市清水町東小学校)
25	岐阜県連盟	イオンモール各務原
26		イオンモール大垣
27	愛知連盟	イオンモール新瑞橋
28		イオン春日井ショッピングセンター
29		イオンモール扶桑
30		イオンモール長久手
31		イオンモール岡崎
32	イオンモール木曽川	
33	三重連盟	イオンモール鈴鹿ベルシティ
34	京都連盟	イオン福知山
35		イオンモール京都桂川
36	兵庫連盟	イオンモール姫路リバーシティ
37	奈良県連盟	イオンモール橿原
38		イオンモール大和郡山
39		イオンモール奈良登美ヶ丘
40	和歌山連盟	イオンモール和歌山
41		イオン新宮
42	大阪連盟	イオン藤井寺ショッピングセンター
43		イオンモール茨木
44		イオンモール鶴見緑地
45	イオンモール日根野	
46	鳥取連盟	イオンモール日吉津
47	島根連盟	イオンモール出雲
48		イオン松江ショッピングセンター
49	岡山連盟	イオンモール倉敷
50	広島県連盟	イオンモール広島祇園
51	徳島連盟	イオンモール徳島
52	香川連盟	イオンモール綾川
53	福岡県連盟	イオンモール八幡東
54		イオンモール香椎浜
55	熊本県連盟	イオンモール熊本
56	大分県連盟	イオン挟間店
57	鹿児島県連盟	イオンモール鹿児島
58	沖縄県連盟	イオン南風原

2022年11月26日(土)、東京・明治神宮会館にてボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典が無事執り行われました。

天皇后両陛下の御臨席と、岸田文雄内閣総理大臣、永岡桂子文部科学大臣、塩谷立ボーイスカウト振興国会議員連盟副会長・事務総長のご出席を賜り、これまで幾多の先人の業績を顧み、その経験と教訓を現代に活かし、スカウト運動がより良い世界を創造することを目指すことへの決意を新たにしました。セレモニーに続いて、村田禎章総コミッショナーによる、「100周年を迎えて ～日本における今後のスカウト運動」と題した記念講演が行われました。またこの行事では、関東ブロック各県から100人を超えるローバースカウトが奉仕し、この式典を支えていただきました。

この日は、現代へと続くスカウト運動の発展に感謝し、その道のりに思いを馳せる一日となりました。



天皇陛下との御懇談

天皇后両陛下による各ブロック代表スカウト6人との御懇談が行われました。

スカウトたちは1人ひとり自己紹介し、佐野専務理事の進行により、スカウトが各自の活動内容を紹介し、その内容について両陛下が御質問される形で行われました。スカウトたちは最初たいへん緊張しておりましたが、進行していくにつれて和やかに御懇談いただくことができました。

天皇后両陛下より御声掛けをいただきましたスカウトは、今後の活動の励みとたいへんな榮譽を得ることができました。



代表スカウト(後列左から)

- 浅井 孝栄 / 中部ブロック代表・愛知連盟 名古屋第67団
- 平石 一陽 / 北海道・東北ブロック代表・北海道連盟 札幌第1団
- 三野 真椰 / 中国・四国ブロック・愛媛県連盟 松山第28団
- 豊田 萌 / 九州・沖縄ブロック・福岡県連盟 北九州第55団
- 岡川 颯夏 / 近畿ブロック代表・兵庫連盟 尼崎第26団
- 中島 有紀 / 関東ブロック代表・群馬県連盟 太田第5団

天皇陛下おことば

ボーイスカウト日本連盟の創立100周年を、皆さんと共にお祝いできることをうれしく思います。

日本におけるボーイスカウトの歴史は、大正10年に、当時皇太子でいらっしゃった昭和天皇が英国を訪問された際、ボーイスカウト運動の創始者であるベーデン-パウエル卿とお会いになり、スカウト運動に関心を持たれたことが契機となり、翌年、少年団日本連盟が創立されたことに始まると聞いています。以来、ボーイスカウト日本連盟が、100年の長きにわたり、「ちかい」と「おきて」の実践を通じて、青少年の健全な育成に取り組んでこられたことに対し、深く敬意を表します。



私が、日本連盟の行事に初めて参加したのは、今から44年前の昭和53年に静岡県御殿場市で開催された第7回日本ジャンボリーでした。その後も日本ジャンボリーやシニアスカウト大会、また、日本アグーナリーなどの諸行事に参加し、スカウトの皆さんとキャンプをしたり、富士登山をしたりしたことは今でも良い思い出になっています。そして、自然の中で仲間と一緒に知恵を出し合い、体を動かすことの大切さや、スカウト活動の楽しさを体験できたことも、得難い経験となりました。スカウトの皆さんが、様々な活動に積極的に参加し、日本全国、そして世界のスカウトとも友情を育みながら、良き社会人となるために研鑽に励んでいる姿を頼もしく感じました。

日本連盟創立から100年を迎える今日までの間に、青少年を取り巻く環境は大きく変化してきました。地球温暖化や生物多様性の減少が進行し、地球環境の保全・保護活動や環境教育、そして、防災の重要性が一層増してきている中、自然への理解を深め、自然を友として親しむ心や能力を育むスカウトの活動は、大変意義深いものと思います。

今後のスカウト運動の一層の発展と、日本、そして世界の子供たちが健やかに育っていくことを願い、式典に寄せる言葉といたします。

創立100周年レセプション



記念式典後は、明治記念館に場所を代え、レセプションが行われました。当日は、各県連盟のライドが流れる和やかな雰囲気の中、230人の参加者が100周年を機に、日本スカウト運動の新たなスタートをする決意を分かち合う、楽しい宵となりました。

■ 100周年を記念する表彰

(敬称略)

1. 加盟員（指導者）に対する表彰

(2022年11月26日付)

令和3年度・令和4年度に継続して登録し、かつ令和4年度に100歳を超える加盟員。

菊田 正夫〔茨城県連盟〕

永見 次男〔神奈川連盟〕

2. 企業・団体に対する表彰

【感謝状】

一般財団法人セブン-イレブン記念財団

(2022年11月26日付)

イオン株式会社

イオンモール株式会社

株式会社ヤクルト本社

株式会社ファーストリテイリング

アイコム株式会社

株式会社カンセキ

ビクトリノックスジャパン株式会社

リオテント・ジャパン株式会社

特定非営利活動法人 日本森林管理協議会

ミツウロコヴェッセル株式会社

株式会社セールスフォース・ドットコム

パロアルトネットワークス株式会社

東日本高速道路株式会社

株式会社ゴーゴーカレーグループ

株式会社明治

キャノン株式会社

日本コカ・コーラ株式会社

独立行政法人国立青少年教育振興機構

弓削田 健介〔合唱作曲家〕

玉木 明〔日本郵便(株)郵便・物流事業企画部切手・業務室課長〕
切手デザイナー

金田 賢一〔俳優〕

王 貞治〔ボーイスカウトアンバサダー〕

野口 聡一〔ボーイスカウトアンバサダー〕

宮川 大輔〔ボーイスカウトアンバサダー〕

岡田 武史〔ボーイスカウトアンバサダー〕

清宮 克幸〔ボーイスカウトアンバサダー〕

(2023年5月11日付)

3. 功労章

(2022年11月26日付)

【きじ章】

衆議院議員 岸田 文雄〔内閣総理大臣〕

4. 企業・団体に対する表彰（県連盟による表彰）

(2023年1月7日付)

【感謝状】

28の団体等（15県連盟）

福島 ボーイスカウト・ガールスカウト振興県会議員懇談会

埼玉 赤城乳業 株式会社

埼玉 毎日興業 株式会社

神奈川 公益財団法人神奈川県少年少女育成指導協会

神奈川 一般財団法人ボーイスカウト神奈川連盟維持財団

山梨 甲府南ロータリークラブ

山梨 武田神社

岐阜 ガーバー・サカイ 株式会社

岐阜 株式会社 マルエイ

愛知 公益財団法人 永井科学技術財団

愛知 名古屋ロータリークラブ

滋賀 トヨタモビリティ滋賀 株式会社

京都 一般財団法人京都ボーイスカウト振興会

京都 株式会社 公益社

兵庫 一般財団法人 川西報公会

兵庫 兵庫トヨタ自動車 株式会社

奈良 サンディスト 株式会社

奈良 奈良トヨタ 株式会社

和歌山 株式会社 山本進重郎商店

和歌山 和歌山県

広島 一般財団法人 多山報恩会

広島 一般財団法人広島県ボーイスカウト維持財団

愛媛 株式会社 伊予銀行

愛媛 セキ株式会社

佐賀 願正寺

佐賀 下建設 株式会社

鹿児島 薩摩川内市

鹿児島 薩摩川内市野下地区コミュニティ協議会

5. 団に対する表彰（昨年度と今年度に継続して登録した団）

(2023年1月7日付)

【表彰状】

対象団1,729団

■ 100周年記念募金事業（未来の子どもたち基金、デジタルミュージアムなど）

ひとり親家庭の支援と国際交流の支援を目的とした「未来の子どもたち基金」、ならびにデジタルミュージアムの設立を目的として募金事業を行い、目標金額1億円として広く寄付を募りました。

その中では、経済団体連合会の役員企業に協力を依頼し、目標に向けた大きな支援となりました。個人からのご寄付に対しては、金額に応じて、感謝の意を込めた記念記章および記念品（ベルトポーチとラゲッジタグ）を贈呈しました。

多くの皆さまのご支援により、今回の記念募金事業などで累計1億円を達成することができました。



記念記章



記念品（ベルトポーチ）



記念品（ラゲッジタグ）

■ クラウドファンディング

記念募金にあわせて、日本連盟として初めてのクラウドファンディングに挑戦し、目標330万円に対して約140%となる4,649,000円のご厚志を集めることができました。

クラウドファンディングへの挑戦中は多くの方から応援のメッセージをいただき、スカウトOB・OGにもう一度スカウト運動に触れる機会となり、私たちも数々のメッセージに大変励まされました。



https://readyfor.jp/projects/100th_scout

■ チャリティーチーフリング

一人でも多くの方にこの募金事業に参画してもらえようボーイスカウトエンタープライズではチャリティーつきのチーフリングを販売し、5千枚以上が売れました。売り上げの一部が本募金への寄付につながるものとなりました。



※蓄光イメージ

社会課題解決への挑戦

日本の相対的貧困率は15.7%というデータがあります。しかしながらひとり親世帯、とりわけ母子家庭では半数以上が相対的貧困の状態にあります。負の循環など家庭の経済的格差が固定化され、経済的に厳しい家庭の子どもの約3人に1人が、学校外の体験機会が何もないという体験の貧困「体験格差」も生じています。

かつては家族が大きく、地域も分厚く、学校や企業の中にゆとりがありましたが、時代背景が変わったことをしっかりと認識することが大切です。イギリスに続いて世界で二番目に「孤独・孤立対策担当大臣」が設置された日本社会では「孤独・孤立」にしないように「家族機能の社会化」として誰かに支えられている、応援されているという地域の小さな繋ぎ直しが必要となってきています。

いま、ボーイスカウトに寄せられる期待は高いものがあり、日本連盟としてはこれからも子どもたちを取り巻く社会課題に挑戦していきます。

■ 記念史／切手／アマチュア無線局／記念ウェブサイト

100周年記念事業では、100年を振り返る記念史（上巻）が発行され、多くの皆様にお届けすることができました。また、記念ウェブサイトの特設、特殊切手の発行、アマチュア無線局の開設もあり、スカウト・指導者が様々なかたちで創立100周年事業に取り組むことができました。



記念史

『より良い世界の創造を目指して～日本ボーイスカウト運動100年史～上』

2022年4月13日発行

- 第1章 ボーイスカウト運動の創始と広がり—1857（安政4）年～1920（大正9）年
- 第2章 日本のボーイスカウト運動の創始—1908（明治41）年～1921（大正10）年
- 第3章 少年団日本連盟の結成—1922（大正11）年～1926（同15）年
- 第4章 昭和の新時代を迎えて～スカウト運動の発展—1926（昭和元）年～1936（同11）年
- 第5章 戦時体制の下で—1937（昭和12）年～1945（同20）年
- 第6章 ボーイスカウト日本連盟の再建—1945（昭和20）年～1954（同29）年
- 第7章 充実から拡張へ～ボーイスカウト教育体系の確立—1955（昭和30）年～1962（同37）年
- 第8章 新しい展開～日本連盟結成50周年を迎えて—1963（昭和38）年～1972（同47）年

※下巻は2023年秋発行予定

切手

発行日／2022年7月27日（水）

種類／84円郵便切手（シール式）

切手デザイン／玉木 明（切手デザイナー）

発行枚数／700万枚（70万シート）

ボーイスカウトの活動や、関係物品等をイラスト化して切手をデザインした。切手シート上部には朝を、下部には夕方をイメージした題材を配置し、キャンプ活動の一日の流れを意識した構成。シート背景には100周年のロゴマークやスカウト章、ビーバースカウト・カブスカウト等を描きました。



記念ウェブサイト

100周年を記念して、これまでの歴史を振り返りながら100周年記念事業を紹介するためのWEBサイトを特設しました。

<https://100th.scout.or.jp/>

100周年を迎えたあともサイト内のコンテンツは皆さまにご覧いただけるようにいたします。

スカウトサポーター

各県連盟のご協力のもと、日ごろスカウト運動をご支援いただいている皆様からの応援メッセージをいただきました。「スカウトサポーター」として



WEBサイトでご紹介し、本運動が多くの方に支えられ、地域とともにあるということを広く発信しました。

100周年特設アマチュア無線局

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ（会長：松平 頼武）は、2022年4月1日から1年間、総務省関東総合通信局より免許を受け特別な呼出符号を用いた「8N100S」（N：日本連盟、100：周年、S：Scoutingの意味を込めた）を開局して運用を行いました。

ボーイスカウト日本連盟100周年を記念したことを世界へアピールすることに併せて、2020年より始まった無資格者でもアマチュア無線を体験する制度を用い、無線従事者免許を持たないスカウトも、指揮者による立ち会いのもとでアマチュア無線の体験運用を行うことができ、スカウトスキルの向上に加え、体験することでこのイベントに参加したすべての者が100周年を祝うことを目的としました。



2022年4月に東京都豊島区で、松平頼武会長の立会いのもと開局式を行い1年間の運用のスタートをきりました。

<https://www.hamlife.jp/2022/04/11/8n100s-qrv/>



全国各地で主に各団や隊が実施したキャンプやハイキング、集会の中の1つのプログラムとしてとして実施しました。

7月に、群馬・太田第5団ビーバー隊からローバー隊の各隊が交代で交信を楽しみました。普段見たことの無い機材を見たり、全国から聞こえてくる会話を聞いたりしながら、「次は僕!」「私!」などと大盛況でした。



3月、日本連盟のスポンサーであるアイコム株式会社のご協力を得て、大型のアンテナを使用し英語での海外との交信を行うスキルアップのプログラムを実施しました。

<https://www.fbnews.jp/202304/news05/>



1年間を通しての8N100Sの運用では、トータル5,000交信という結果となりました。

ボーイスカウト日本連盟創立100周年を内外にアピールできたことに加え、運用したスカウトたちはスカウトスキルとして無線通信の体験やレベルアップをはかることができ大きな成果を得て8N100Sは1年間の運用を終了しました。

100周年記念事業の締めくくりとして、クロージングセレモニーを実施しました。

富士スカウト代表45人が参加するなか、国立青少年教育振興機構の古川理事長より創立100周年への祝辞をいただき、佐野100周年記念事業実行委員長が事業報告を行いました。そして、水野理事長による「記念事業終了宣言」をもって終了しました。



■ 佐野実行委員長総括



ボーイスカウト日本連盟創立100周年に向けた取り組みは、すでに2018年から、加盟員の皆さんにはその機運向上のためにユニフォームに100周年記念章を着用していただきました。

2020年からは新型コロナウイルス感染症の蔓延により、記念行事の一つである第18回日本スカウトジャンボリーの開催準備も苦労を重ねる中、2022年4月10日にオープニングセレモニーを開催し、様々な記念事業の幕開けを飾りました。

前述の各ページでもご紹介していますが、主に以下のような事業に取り組みました。

- 日本連盟創立記念日である4月13日には、100周年記念ソング「ボーイスカウト～いま、高き峰へ～」を公開しました。
- 同日、日本ボーイスカウト運動100年史の「上巻」を発行しました。
- 7月には日本郵便から、日本連盟創立100周年の記念切手が発行されました。
- 100周年記念募金は、加盟員の皆様はもとより、加盟員以外の方々、そして経済界からも日本経団連会員企業の各社様からも多くのご支援を賜りました。皆さまからいただいたご厚志は、「未来のこどもたち基金」と、ボーイスカウトが続けてきた青少年教育運動の歴史をまとめた「デジタルミュージアム」設立という、子どもたちのための事業に充てられます。
- これまでの我が国のスカウト運動発展のために功績のある個人・企業・団体への100周年記念特別表彰も創設されました。

おもだった全国的な活動としては、

- イオン株式会社との共同開催事業である「全国防災キャラバン」

は、日本連盟100周年記念企画として、「わたしのみらい・まちのみらい」と題した将来のまちづくりを考える企画も盛り込み、全国58か所で展開しました。

- セブン・イレブン記念財団に協賛いただいている「スカウトの日」は、より大きなご支援をいただき、「プラごみバスターズ大作戦」として展開。200万個以上のプラスチックごみを全国で集めたほか、地球環境保全についてスカウトたちがしっかりと考えるきっかけにもなりました。
- 夏季には、第18回日本スカウトジャンボリーを100周年記念大会として開催。新型コロナウイルスの蔓延状況を考慮し、全国で分散型での開催として、250箇所以上の野営地で、のべ1万4千人以上が参加しました。オンラインでお互いの活動内容を共有し、その成果を称えるなどとして、まさに「Scouting Never Stops」を体現するような取り組みがなされました。中でも、東京都大田区総合体育館を主会場として、全国各地と中継を結んで開催した「ジャンボリー大集会」には、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を賜り、スカウトたちの元気な姿をご覧いただいたほか、代表スカウトとのご懇談も賜りました。
- 11月26日には100周年記念式典を開催し、これまでも数多くのお出ましをいただいている天皇皇后両陛下にもご臨席賜りました。

このあと、日本ボーイスカウト運動100年史の「下巻」と「日本ボーイスカウト運動史Ⅲ」が2023年10月に発行を予定しています。

皆様と創立100周年を共にお祝いできましたことに対し深く御礼申しあげますと共に、あらたな100年へと続く歩みを、より良い世界を創造することを目指して、これからもしっかりと進めてまいります。

弥栄

日本連盟創立100周年記念事業実行委員会

[任期: 2020年5月28日~2023年5月31日]

委員長 佐野 友保
委員 木村 寿宏 鈴木 國夫
戸高 有基 松平 頼武

100周年スカウトミュージアム建設小委員会

[任期: 2020年5月28日~2023年3月31日]

委員長 松平 頼武
副委員長 永井 淳
委員 笠原 功 中川 玄一
増田 秀夫

100周年記念史編纂委員会

[任期: 2016年1月19日~任務終了時まで]

委員長 鈴木 國夫
委員 今井 章 金井 昭二
茂木 達郎

100周年特別募金小委員会

[任期: 2020年5月28日~2023年5月10日]

委員長 戸高 有基
副委員長 磯山 友幸
委員 出田 行徳 井上 義雄
澤 朋宏 鈴木 俊明
間下 正司 和田 剛和

100周年記念式典小委員会

[任期: 2020年5月28日~2023年3月31日]

委員長 佐野 友保
副委員長 藤本 欣司
委員 入江 生夫 氏家 邦政
片平 紀行 白川 雅之
中橋 邦 山崎 伊佐緒
村山 正己 山本 照恵

【式典部会】

部長 藤本 欣司
副部長 中橋 邦 山崎 伊佐緒
部員 井沢 京太郎 入江 生夫
片平 紀行 只野 太一
永島 啓介 村山 正己
山本 照恵

【レセプション部会】

部長 白川 雅之
副部長 氏家 邦政
部員 佐藤 武信 島田 雅彦

100周年都道府県連盟記念事業小委員会

[任期: 2020年5月28日~2023年3月31日]

委員長 木村 寿宏
副委員長 井沢 啓一 榊原 孝治
委員 今泉 哲也 川田 幸児
指田 守昭 関口 昇一郎

100周年
記念ムービー





公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話: 03-6913-6262(代表) FAX: 03-6913-6263

<https://www.scout.or.jp>